

とこなめ陶の森 資料館

常滑は「日本六古窯」のひとつとして知られている。それらは 1,000 年以上の伝統を持つ歴史的に重要な陶磁器の産地である。とこなめ陶の森は、常滑市の豊かな焼き物の遺産をたたえ、未来を展望する文化施設である。施設は、有用な情報を提供する歴史資料館、研究所、そして若手陶芸家育成のための研修工房の 3 施設で構成されている。

館内には、何世紀にもわたって作られた常滑焼の優れた作品が展示されている。展示品の各セクションには、それら作品とその製作に使用された技術についての詳細な英語の説明も含まれる。展示品の管理に加えて、博物館のスタッフは常滑焼の継続的な保存に尽力している。

とこなめ陶の森は、「やきもの散歩道」B コースに入っており、常滑駅から直行すれば徒歩 25 分で行くことができる。